

行動科学

Behavioral Science



| | | | |
|-----------|------|------|-------------|
| ナンバリングコード | | | |
| 開設年度 | 2023 | 開設部局 | 共通教育センター |
| 学科・プログラム等 | | | |
| 学期 | 前期 | 学年 | 1年 2年 3年 4年 |
| 曜日 | 水 | 時限 | 1限 |
| 履修期 | | 授業形態 | 講義 |
| 科目区分 | 選択必修 | 単位数 | 2単位 |
| 対面／遠隔 | 遠隔授業 | 授業回数 | 15回 |

■担当教員

横山春彦

■共同担当教員

なし

■授業概要

例えば広辞苑で心理学を引くと「人の心の働きもしくは人や動物の行動を研究する学問」とあります。心の働きも行動の1つと考えますから心理学は人や動物の行動を研究する学問と言えます。ヒトだけではなく、心だけでもありません。

また、行動とは身体運動だけを意味するものではありません。ヒトや動物の体で起こるすべての反応を含みます。よって神経やホルモンの働きなども研究します。なお行動は操作可能であることから行動科学とも呼ばれます。

本講義は、身近なヒトの行動やのらねこ研究など、具体的な行動を例に心理学とは何か、具体的な動物行動の事例、心理学のトピック、大学での学びとは何か、身近な動植物の紹介など内容に富む内容となります。

授業の目的、内容、方法の要約は以下の通りです。

目的: 生きているヒト・動物の行動について理解と関心を持つ。

内容: ヒト・動物の持つ環境への適応行動やメカニズムを学ぶ。

方法: 具体的な行動の例を視覚的な材料を用いてわかりやすく解説。

■学修目標

学習目標は以下の3点となります。

1. ヒト・動物の様々な行動について理論的な説明ができる。
2. ヒト・動物の行動に対する様々な疑問について仮説を立てることができる。
3. ヒト・動物の行動とその仮説について初歩的なデータ収集ができる。

■授業計画

第1回 心理学とは何か(乳幼児の形の認識、のらねこ研究1:ヤスの行動)、心理学のトピック(オペラント条件づけ1:食行動・性行動)、大学での学びとは何か1(昨今の出来事を例に)、身近な動植物1。

第2回 心理学とは何か(乳幼児の顔の認識、のらねこ研究2:ミイの行動)、心理学のトピック(オペラント条件づけ2:スポーツ・犯罪・恋愛)、大学での学びとは何か2(昨今の出来事を例に)、身近な動植物2。

第3回 心理学とは何か(乳幼児の言語認識、のらねこ研究3:のらミイの行動)、心理学のトピック(オペラント条件づけ3:ドライブング・音楽)、大学での学びとは何か3(昨今の出来事を例に)、身近な動植物3。

第4回 心理学とは何か(皮膚感度の測定、のらねこ研究4:お母さんの行動)、心理学のトピック(オペラント条件づけ4:相談・飲酒)、大学での学びとは何か4(昨今の出来事を例に)、身近な動植物4。

第5回 心理学とは何か(学習実験、のらねこ研究5:ちびミイの行動)、心理学のトピック(古典的条件づけ:条件反

射・消去・自然回復)、大学での学びとは何か5(昨今の出来事を例に)、身近な動植物5。

第6回 心理学とは何か(ブロック崩しゲームによる学習データ、のらねこ研究6:しろちゃんの行動)、心理学のトピック(聴覚と平衡感覚)、大学での学びとは何か6(昨今の出来事を例に)、身近な動植物6。

第7回 心理学とは何か(ボウリングゲームによる学習データ、のらねこ研究6:チャの行動)、心理学のトピック(視覚)、大学での学びとは何か7(昨今の出来事を例に)、身近な動植物7。

第8回 心理学とは何か(エアホッケーゲームによる学習データ、のらねこ研究6:まあの行動)、心理学のトピック(味覚と嗅覚)、大学での学びとは何か8(昨今の出来事を例に)、身近な動植物8。

第9回 心理学とは何か(血圧、のらねこ研究6:ネオの行動)、心理学のトピック(皮膚感覚)、大学での学びとは何か9(昨今の出来事を例に)、身近な動植物9。

第10回 心理学とは何か(高速道路運転時の瞬き回数、のらねこ研究6:パズの行動)、心理学のトピック(幾何学的錯視)、大学での学びとは何か10(昨今の出来事を例に)、身近な動植物10。

第11回 心理学とは何か(一般道路運転時の瞬き回数、のらねこ研究6:とらたろうの行動)、心理学のトピック(幾何学的錯視)、大学での学びとは何か11(昨今の出来事を例に)、身近な動植物11。

第12回 心理学とは何か(DVD視聴時の瞬き回数、のらねこ研究6:ベルの行動1)、心理学のトピック(ゲシュタルト要因)、大学での学びとは何か12(昨今の出来事を例に)、身近な動植物12。

第13回 心理学とは何か(VDT作業時の瞬き回数、のらねこ研究6:ベルの行動2)、心理学のトピック(色覚1:パチョルト・ブリュッケ現象)、大学での学びとは何か13(昨今の出来事を例に)、身近な動植物13。

第14回 心理学とは何か(小説の文字数変化1、のらねこ研究6:モコの行動)、心理学のトピック(色覚2:進出色・後退色)、大学での学びとは何か14(昨今の出来事を例に)、身近な動植物14。

第15回 心理学とは何か(小説の文字数変化2、のらねこ研究6:モコの行動)、心理学のトピック(Y染色体)、大学での学びとは何か15(昨今の出来事を例に)、身近な動植物15。

第16回 期末試験は行わない。毎週の視聴状況とmanabaに投稿するレポート(40%)、期末に提出する最終レポート(60%)により総合的に成績を評価する。

■授業方法

アクティブラーニング

■準備学修に必要な学修時間の目安

本講義は2単位の授業であるため、授業内容に関してあらかじめ行う2時間程度の予習と授業後に行う2時間程度の復習が要件となります。

■教科書

特に指定しない。

■参考書

適宜紹介。

■成績評価方法・評価基準

期末試験は行わない。毎週の視聴状況とmanabaに投稿するレポート(40%)、期末に提出する最終レポート(60%)により総合的に成績を評価する。

■オフィスアワー

manabaにより随時受け付ける。

■連絡先(TEL)

法文学部4階 認知心理学研究室 (099-285-7535 内線7535)

■連絡先(MAIL)

yokoyama@leh.kagoshima-u.ac.jp

■担当教員への連絡方法

manabaのスレッド、もしくは担当教員の研究室メールアドレスに連絡する。

■履修条件

なし

■実務経験のある教員による実践的授業

該当なし

■(平成28年度以降入学生)中分類

教養教育科目(教養基礎科目)

■(平成28年度以降入学生)小分類

人文社会科学分野(選択科目)

■受講学部学科

全学部対象。

■<理念>重要視する教育目標

4. <科学的思考> 1) 科学的根拠に基づく仮説を立てることができる

■担当教員所属

鹿児島大学法文学部人文学科

■地域志向科目の区分(平成28年度以降入学生用)